

【建設通信新聞】

2017年11月30日（木曜日）

橋桁の仕組み学ぶ

オリエンタル白石が
小学生の現場見学会

オリエンタル白石は28日、東京都新宿区の「神田川橋梁（仮称）桁製作・架設工事」の現場見学会を開いた。戸塚第一小学校の3年生の児童約70人が参加し、橋桁を製作する過程や施工の手順、橋桁を構成するコンクリートの強度などを学んだ。見学会後には

参加した児童たちが橋桁に未来へのメッセージを書き込み、設置作業を見届けた「写真」。



児童らは現場での働き方や橋桁の仕組みなどを質問し、建設業への理解を深めた。「橋をつくる上で一番大切なこと」を問われた野口宏現場代理人兼監理技術者は「重く大きな橋桁を動かす工事のため、最後まで誰もけがをしないよう安全を大切にしている」と答えた。